MESSAGE FROM SUPPORTERS

それぞれの横浜ダービーへの想い

「絶対勝利!!!!!!!」「ダービーに勝つ、永遠にダービーを続けるには残るしかない!」「絶対勝利!! 前回の横浜ダービーでは望んでた結果にはならなかったからこそ今回は絶対絶対勝って大喜びをしたい。」「2007年初の横浜ダービー、私は高校生で横浜FCユースに所属していました。その試合、私は担架係としてピッチ横からその熱気溢れるピッチ、超満員のスタンドを見て、担架係として仕事を全うしなければいけない気持ち反面、どこかドキドキワクワクした高まる気持ちを抑えられませんでした。試合中1度だけマリノスの選手が倒れ、ピッチに入り選手を運びましたが、そのときの声援、熱気は今でも忘れられません。今横浜FCは J1に定着するために様々なことを考え、試み、チャレンジしながらもがいてると思います。あのダービーのように、再び満員になる三ツ沢を楽しみにしています。マリノスは昨夜の王者ですが、ダービーはそんなこと関係ありません。選手もサポーターもプライドを持って、熱く正々堂々と闘いましょう。」「久々のダービーで張り切っていた日産での屈辱は忘れない。その借りを返すためには絶対残留して来年また日産に乗り込むだけ。でも三ツ沢で話は別。絶対勝つ」「2007年初J1での初対決初勝利し、そしてアウェーで大敗。記憶にすごく残っている。あの時のような熱い試合し、横浜FCが勝つ!」「横浜FC、そして横浜としてのプライドをかけていつも以上にみんなで一丸となって横浜ダービーに必ず勝ちましょう!! 俺たちヨコハマアレ!!」「J リーグで最高に盛り上がるダービーだと思っています。ここで、勝って俺たちの三ツ沢ってことを証明しましょう!」「ダービーは勝つ以外の選択肢は無い。さぁやろうぜ本物の横浜、」「前半戦0対5で負けて悔しい思いをしたのでぜひこの横浜Derbyでマリノスから勝利を奪いたい! 俺たちなら絶対やれる」「横浜FCができる前、三ツ沢でフリューゲルスやマリノスの試合を見ていました。そこからあの衝撃のことがあって、そして横浜FCが生まれ、初めてひとつのクラブを見続けるサポーターになりました。8年かけてJ1に上がり、迎えた運命のダービー。ただの勝利ではない、ゼロから積み上げて、築けていった全てが詰まった勝利でした。ダービーは常に挑戦です。マリノスにではなく、クラブの消滅という悲劇を乗り越えて、誰もが真っ直ぐに進めるJリーグのあるために、横浜FCにしかできない挑戦です。だからJリーグの歴史を背負って戦います!」「Jリーグ開幕前、中学生だった私は伊勢佐木町の街頭イベントで横浜マリノスのイベントを見て、サッカーを応援するようになりました。最初はそのイベントにいた選手から応援するようになりすっかりマリノスのとりこに。その後応援していた選手が横浜フリューゲルスに移籍してからはどちらのチームもこっそり応援し、それぞれの選手、それぞれのチームの強み弱み全部が大好きになりました。そして訪れた突然の合併、好きなチーム同士が合体する喜びがあるのかと思いきや、それはそれは複雑な気持ちでした。そして横浜フリューゲルス最後の天皇杯国立。私はチケットもなく駅で友人と泣いていました。そこに現れた一人の男性、そんなに好きなチームなら…と余っていたというチケットを差しだし、一緒に涙ながらに応援して援勝。それから私のサッカー熱は自然と消えてしまいました。そして数十年後、子どもが生まれ、今は息子が横浜FCでサッカーを学び、楽しんでいます。私はあの頃のサッカー熱がよみがえり、今は息子という一番の推し選手を見つけました。そして今はあのみんながつらかったチームの合併という歴史を抱えた両チームをどちらも大切に思っています。今日もきっとあの頃を思いだしながら複雑な気持ちになりながら、応援します! 頑張れ!」「引き分けでは納得できない。勝利だけが全て。」「横浜ダービーは、その時の順位は関係無く、絶対に負けられない戦いがあります。内容よりも結果を求めて、熱い気持ちで闘い、絶対に勝つ。選手、スタッフ、サポーター、一体になって勝ちましょう。」「同じ街にあるライバルクラブマリノス ここ三ツ沢で絶対に負けてはいけないしあの時のフリエが笑って最後は終わろう! やれ横浜! かならず勝つ!!! フリエ・サポー人ひとりに。それぞれ違った「あっちじゃなくてこっち」の思いがある。だから、今日も新横ではなく三ツ沢へ。」「ダービーは、マリノスさんと、我々横浜FCの関係は、フリエ時代からお世話になっています。フリエというチームがなくなり、この前、日産スタジアムでダービー戦って、我々横浜FCが大差で負け、最悪な結果となりました。やり返したいという気持ちを持って8月26日を迎えたいと思うと同時に我々横浜F が大差で勝利し、残留争いができるようにさらにギアをあげなければなりません。」「タイトルよりも…昇格降格よりも…リーグの順位よりも…何も要らない。欲しいのは「勝利」のただひとつ。そんな闘いが目の前にある。どんな相手よりも「目の前の相手」にただ勝ちたい!!! それが横浜ダービー。」「同じ「横浜」同じ「サッカー好きの元サッカー少年」歪みあうのではなく、共にサッカー戦士。相手をたたえあおう!! そして…最後に笑うのは、「我らが横浜FC!! 未来のために、子供達のために!!!」「絶対に負けられない、負けるわけにはいかない! これがダービー!」「はじめて横浜FCのゴール裏に来たのが、4月8日のマリノス戦でした。ピッチ上の選手を見て、このチームを応援したいと思いました。前節の借りは返す! 勝ちましょう!」「フリューゲルスの時から、横浜FCになっても、マリノスにだけは何があっても絶対に負けてはいけない! 最初から強い気持ちを持って相手を圧倒しよう!」「僕は、小学二年生の時はじめてサッカーの試合を観に行きました。三ツ沢球技場で行われた横浜FCの試合でした。選手たちの力強いプレーに圧倒され、いつか僕もこのハマブルーのユニフォームを着たいと思い、サッカーに没頭しました。途中で三年間父の仕事で海外に行って、横浜FCの試合は見る機会がありませんでした。帰国するときにはコロナ禍の2021年で、前のような三ツ沢にひびきわたる声は聞こえませんでした。でも、サッカーの楽しさを改めて感じさせてくれた横浜FCを応援したいと思いました。J2に降格してしまった。2022年も、ずっと応援し続けた甲斐もあり、一年でJ1に復帰することができてうれしかったです。そんななか迎えた2023シーズンで最初に観に行った試合は日産スタジアムで行われた横浜ダービー。去年、J1を制したチームに終始圧倒されて、大敗…。だからこそ、三ツ沢で行われる横浜ダービーでマリノスを倒せるよう精一杯応援したいと思っています。2021年に三ツ沢で行われた横浜ダービーでは、サウロミネイロ選手の2ゴールで残留への期待を寄せることのできるような一戦になりました。僕はスピードとパワーを武器にフォワードとして日々頑張っているのですが、同じ背番号の13番をつけているサウロミネイロ選手を見て、ものすごい憧れを抱きました。頑張れ横浜FC!!」「横浜FCは横浜フリューゲルスの生まれ変わりと今でも信じているサポーターです。両サポーターキチンと歴史認識してダービーに望んでほしい。」「横浜のプロスポーツといえば…悔しいけど私の周りの人たちは全員横浜F・マリノスと答えます。私が指導している地域の少年サッカークラブの子供達も横浜F・マリノスを応援…横浜FCの事も知らない子たちもいます。横浜FCというチームを知るきっかけになるのが横浜ダービーです。横浜FCにとって、負けられない試合です。絶対に勝利が必要な試合です。横浜FCを愛する全ての人達がプライドを持って戦ってほしい! 横浜FCファミリーのたくさんの方が三ツ沢に来てほしいので横浜ダービーの大告知作戦をお願いします^_^ 横浜FC史上最大級でお願いします。」「現在横浜FCは、16位という順位となっていますが、四方田監督をはじめ、選手たちもJ1に残留という気持ちになっています。ダービーでは、この前は、0-5という結果になりましたが、やり返したいという気持ちで、勝たなければならない試合になります。ホーム三ツ沢で勝利して横浜FCのファン、サポーターのみんなが笑顔で帰れるようにしてほしいです。」「横浜ダービーについては順位など関係ない 死ぬ気で勝て こちらも死ぬ気で応援する」「リーグの順位に関係なく!! 勝つことが全て! どんな用事があってもダービーだけは必ず駆けつけます! 前回の悔しさを忘れない。九州から行きます。」「今日は仕事で行けません、でも気持ちは聖地三ツ沢にあります。フリエ戦士を信じてます、どこにいても応援してます、共に戦いましょう!」「碧くなれ!」「J1の舞台でダービー負けのない三ツ沢! 三ツ沢は俺たちの丘だ!!」「横浜FCも横浜F・マリノスも大好きなクラブです! 横浜ダービーが毎年、真剣勝負で繰り広げられることを願っています!」「これから共にサッカー界の歴史を刻んでいくチームはもちろんですが、お互いのサポーターの想いが美しいものであれば、サポーターの子どもが自然と横浜ダービーという素晴らしい空間を彩ってくれるはず。そう思って、私は幼い息子と一緒に応援を続けています!」「横浜ダービーだけは順位など関係ない。三ツ沢は我々のホームである。そこに足を踏み入れた以上、マリノスサポを余裕こいた顔で返してはいけない。」「4年前の区民デ。今思えば職場に案内が来たのはこれが最初で最後。何かのご縁でしたね。サッカー好きの同僚達に「サッカー観たことないの?三ツ沢は近くていい球技場だよ! 行こうよ行こうよ!」と誘われ申し込んだのがキッカケ…。当日、娘と2人寝坊して行くのやめよーかーとダラダラしていたところに、後輩職員から「席取りましたよ! 早く来て! 」と言われ慌てて出かけ、まず驚いたのがほぼ満員の観客席。初めての球技場にドキドキが止まらず落ち着かない。席取っといて買わなかったら立ち見だったね…隣の子供達ユニなんか着ちゃって可愛いね…前の席の子、キノコの山のチョコだけ食べてビスケットはお父さんの口に無理矢理押し込んでるよ…中村俊輔ゴール!!!え? 観てなかった…あの有名な人が初ゴールしたみたいだよ…、てな感じでほぼサッカー観るより人間ウォッチングで終わった初観戦でした。が、娘共々、なんだろねこの高揚感…めちゃくちゃ気持ち良かったし楽しかったね…次は試合をちゃんと観てみたいよね…ルール分かんないけど…で、自分でチケットを買い観に行ったところがブズブズとハマる迄にはそう時間はかかりませんでした。ただその頃の私達はJ1に昇格が決まった時、え? なんか益々手の届かない所に行っちゃうの? J2のままでいいのにね…とサポさん達に聞かれたら瞬殺される様な事を言ってたのを思い出します。もちろん横浜ダービーなんて言葉も知らず、歴史も知らずお気楽な私達でしたが少しずつ学びました。サッカーと素人の私達親娘に「横浜FC観に行く為に仕事します」と言わしめる選手の皆様、こんなサポもいますよー! たぶんおばぁちゃんになっても私は横浜FCを応援し続けます!生き甲斐になっちゃってますから。最後に一句… 「因縁の アズ眼球 夏祭り」ダービー楽しみにしてます。」「勝て勝て勝て! ホームやぞ!!」「横浜ダービー勝つのは横浜FC! 横浜ダービーの面白さは、横浜ダービーに参加しなければ味わえない! フリエを愛する仲間よ! 三ツ沢に集え!」「絶対に勝て! マリノスに負ける? ありえない。」「横浜ダービー リーグ戦での対戦は7回、全部目の前で観てきた。アウェイゲームでの悔しさと怒りは絶対に記憶から消えない。でも、三ツ沢での歓喜のエネルギーにはその数万倍の熱量がある。だからダービーは堪らない。ハヤのゴールで歴史的初勝利、シチ、マサ、セヌのゴールで大勝、サウロの覚醒。この特別な対戦で今年は誰が主役になるのか? 本気で戦った奴に対しての賞賛がある。ゴールした君か、好機を作った君か、死守した君か、最高の調整をしたチームスタッフか、歓喜あふれる環境を用意したクラブスタッフか、この夜に地球上で一番熱い劇場を作り上げたHAMABLUEサポーターか。全員の魂が勝利を呼び寄せる、次は絶対に勝つ! 頑張れFULIE 横浜FC!」「絶対に負けられない横浜ダービー! アウェイでの雪辱はホームで晴らそう!!」「なかなか厳しい戦いになるかもしれないけど、自信を持って挑みたい。そして何より、来年も横浜ダービーが出来るよう、後半からの快進撃に期待!!!」「勝勝勝